

# コロナ禍の新たな活動のカタチ

## 戦争の語り部

代表：加藤 勇治

令和2年度、神戸市内の各小学校に「戦争体験語り部授業」の支援案内を前年度と同様に実施したところ、令和2年8月時点で、15校の小学校から語り部支援の要請がありました。しかし、コロナの関係からか、「本年度の支援要請を急遽見送らせていただく。」と連絡が入り、令和2年度の支援校は、9校にとどまりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で毎年、語り部授業を実施していた常連校のうち、渦が森小学校、北須磨小学校、竜が台小学校、竹の台小学校、甲緑小学校、若葉小学校の6校が、本年度については、語り部授業の実施を見送られることとなりました。

また、実施校との事前調整打合せでは、会場は体育館等の広い場所を確保し、生徒の席の間隔を空けるよう提案。三密を防止するようアドバイスを言い語り部の授業を実施しました。

学校名	実施	対象人数
星和台小学校	実施	68名
下畑台小学校	実施	74名
鈴蘭台小学校	実施	67名
井吹東小学校	実施	186名
宮本小学校	実施	62名
箕谷小学校	実施	49名
千鳥が丘小学校	実施	117名
井吹の丘小学校	実施	170名
本山南中学校	実施	288名
甲緑小学校	見送り	
若草小学校	見送り	
竹の台小学校	見送り	
北須磨小学校	見送り	
竜が台小学校	見送り	
渦が森小学校	見送り	



## 西区会

Zoom 役員会

西区会長：吉田 謙

わ西区会の毎月の役員会は一室に会して行っていたがこのご時世、密を避けるということでPCまたはスマホを介したリモートでの役員会を試みました。幸いにもリモートに精通した役員がいて彼をホスト(主催者)として2月25日に開催しました。ホストの指示通りのURLをクリック、Zoomというシステムにとても簡単に入ることができました。

Zoomには以下の得失があります。



コロナ禍、皆で集まって会議をやったり、しゃべったりする機会が少なくなりました。

そこで、「Zoom」が一躍脚光をあびるようになりました。

昔からマイクロソフトのスカイプがあり、そこではテレビ電話ができました。スカイプでは参加者がすべてマイクロソフトのIDをとらねばならず、LINEも同様にテレビ電話ができるが、LINEはSNSであって、個人情報漏れやすいという欠点があり、またLINEは動きが遅い。これに比べてZoomはホスト(主催者)がきちんと管理をすれば情報漏れは防げるし、またZoomはホストがIDとパスワードをメールで送れば(IDとパスワードを知らせれば)そのURLをクリックすればZoomに参加できる(Zoomが裏でIDとパスワードを作成している)という手軽さが受けています。

Zoomはパソコンの性能や通信状況にもよるがLINEよりはるかに動きは早い。よって各国首脳などが出かけずに行う会議には必ず使っています。従ってこの機能を使えば出向いて行って会議する必要はありませんが、ただ欠点して、当然ですが書類などはメールで送れるが物はわたせない。コロナ禍にあってもこれからはますます利用されていくものと思われます。実はこのところ高校の同級生数名とZoomでの飲み会をやっています。

(PC画面内で)みんな集まったところで乾杯！その後は昔の話や各自の趣味など話はずみずみ。特に病気の話が一番盛り上がるようです。マスク不要、着る服も気にしない、終電の心配もない、無用の出費無し、費用は自前の飲み物代といいことづくめ。唯一の欠点は座が盛り上がる頃突然シャットダウン。なんと無料版は40分で終了します。でも再度立ち上げればまた40分、十分に2次会も楽しめます。

皆さんの役員会も飲み会もZoomをお勧めします。